

# はじめに

本県の農業改良普及事業は、魅力ある農業・農村の再興に向けて、「先進的農業に取り組む経営体の支援」、「地域農業の振興に向けた総合的な支援」を柱とした「協同農業普及事業の実施に関する方針」の下、国や市町村、関係団体と連携して普及活動に取り組んでまいりました。

東日本大震災から10年余り、創造的な復興の取り組みを着実に進め、ほ場の大区画化や担い手への農地集積による100haを越える大規模土地利用型経営体や高度な環境制御技術等を取り入れた先進的施設園芸経営体が次々と誕生しており、本県の農業構造は大きく変化しています。

一方、令和元年東日本台風の豪雨等による農地や農業用施設・機械への甚大な被害、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う農畜産物の生産販売額の低迷、海外情勢の緊迫化に伴う原油高、国内の市場規模縮小に伴う米の生産数量調整など、本県の農業を取り巻く情勢は厳しさを増しております。

このような中、本県の普及活動では、農業経営の安定化や地域農業の核となる経営体の持続的発展を図るため、スマート農業技術をはじめとするアグリテックの導入による生産性の向上、園芸作物の導入・定着、担い手への農地の集積・集約化の推進、中山間地域の活性化、新規就農者の確保・育成などを重点的に支援しております。

令和3年度は、県内9カ所の農業改良普及センターと革新支援専門員により、上記の支援に加え、令和元年東日本台風の被災地域における営農再開の支援等の計35のプロジェクト課題に精力的に取り組みました。

本書では、令和3年度に完了した課題を中心にその成果を取りまとめております。

令和3年3月に策定した「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」に掲げるキャッチフレーズ「『共創力強化 ～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～』のもと、今後とも農業改良普及センターでは市町村、農業団体、農業者等と連携し、「豊かな食」、「儲ける農業」の実現を目指して農業現場の課題解決に取り組むとともに、「活力ある農村」を次の世代につなげるため、農業者のみならず食に関係する全ての事業者や消費者の連携を推進してまいりますので、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

令和4年5月

宮城県農政部長 宮川 耕一

# 目 次

## I プロジェクト活動事例 みやぎの農業を担う次代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化

### 1 先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援

- (1) 令和元年東日本台風から2年ぶりの営農再開  
令和元年東日本台風被災農地の復興に向けた担い手確保  
竹谷地区基盤整備推進委員会20人……………大河原 2
- (2) 中山間地域での持続可能な地域農業の構築  
下真山地区における農地整備事業を契機とした地域農業の発展  
下真山地区担い手候補者13経営体  
(法人経営体1法人, 個別経営体12人)……………大 崎 4
- (3) 次世代にタスキをつなぐ土地利用型農業法人の経営基盤の整備  
土地利用型農業法人の早期経営安定  
農事組合法人おさとファーム役員5人……………美 里 6
- (4) 集落営農組織の法人経営安定化へ向けて  
農地整備を契機に設立した農事組合法人の営農モデル構築  
農事組合法人やつきファーム役員7人……………栗 原 8
- (5) 規模拡大後の社内体制の確立を目指して！  
土地利用型農業法人の体制整備による経営安定  
株式会社石ノ森農場……………登 米 10
- (6) 復旧農地を担う大規模法人の課題解決に向けて  
被災農地における土づくりの推進による生産性の向上  
株式会社宮城リスタ大川, 農事組合法人みのり,  
株式会社ゆいっこ……………石 巻 12
- (7) 震災復興農業法人の経営安定化を目指して  
組織力強化による農業法人の経営ステップアップ  
株式会社めぐいと……………石 巻 14
- (8) 園芸複合経営体における効率的な栽培管理と高品質・安定生産に向けた支援  
ねぎといちごの販売拡大による経営の安定  
シーサイドファーム波路上株式会社……………気仙沼 16
- (9) アグリテックを活用した農業生産の効率化  
農業経営の効率化に向けたアグリテックの活用  
アグリテックを導入した大規模土地利用型経営体8法人……………革 新 18
- (10) ICT技術を活用した普及活動を目指して  
ICT技術を活用した新たな普及活動の実践  
県内の普及センターに所属する普及指導員……………革 新 20

### 2 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援

- (1) 若手果樹生産者の技術向上を目指して  
担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展  
JAみやぎ仙南角田地区梨部会2人,  
蔵王地区なし部会3人, 若手果樹生産者8人……………大河原 22

### 3 先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援

- (1) 台風災害からの早期経営回復を目指して  
先進的園芸経営体の生産技術向上による経営安定  
株式会社イグナルファーム大郷  
代表取締役1人, 職員2人……………仙 台 24

- (2) 施設なすの生産性向上を目指して  
大崎園芸を牽引するなすの技術革新による生産性向上  
J A古川なす部会施設なす生産者3人(部会員40人)  
株式会社てくてくファーム……………大崎 26
- (3) スマート農業技術を取り入れた大規模経営の実現  
スマート農業技術の活用による土地利用型作物の生産性向上  
農事組合法人iファーム(役員5人,社員2人)……………栗原 28
- (4) きゅうり環境制御技術のスキルアップ支援  
きゅうり環境制御技術のスキルアップによる生産拡大  
きゅうり環境制御機器導入生産者5人……………登米 30
- (5) 新品種「にこにこベリー」の生産の安定化を目指して  
県育成品種「にこにこベリー」の収量安定化  
石巻市および東松島市のいちご法人(3経営体)……………石巻 32

#### 4 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援

- (1) 目指せ!いちご1億円産地  
新しい生産技術の導入によるいちごの産出額向上  
J Aみやぎ仙南蔵王地区いちご部会13人……………大河原 34
- (2) 新たなたまねぎ産地の育成に向けて  
機械化一貫体系の導入によるたまねぎ産地の拡大  
J Aみやぎ仙南たまねぎ部会員17人……………大河原 36
- (3) 新品種「にこにこベリー」の導入定着支援  
新品種「にこにこベリー」導入定着によるいちごの安定生産  
J Aみやぎ亘理いちご部会「にこにこベリー」生産者21人……………亘理 38
- (4) 「シャインマスカット」の技術力向上に向けて  
「シャインマスカット」の栽培技術力の向上による生産拡大  
管内ぶどう生産者4人,(農事組合法人 志賀)……………亘理 40
- (5) 土地利用型法人によるえだまめ栽培技術の習得に向けて  
土地利用型法人によるえだまめ生産体系の導入定着  
有限会社薬師農産,農事組合法人かすかわ……………仙台 42
- (6) J A新みやぎあさひなぶどう部会の新たな発展に向けた取組  
「シャインマスカット」の産地形成に向けた生産・販売力向上  
J A新みやぎあさひなぶどう部会  
中核的農家5人(同部会員20人)……………仙台 44
- (7) 古川えだまめの産地化を目指して  
「水田フル活用」に向けた土地利用型経営体によるえだまめの産地育成  
農事組合法人大地・西荒井(構成員7人),  
齋下生産組合(組員7人)2経営体  
(J A古川えだまめ生産者9経営体)……………大崎 46
- (8) 栽培技術の「見える化」と生産力向上の取組について  
持続的な生産へ向けたこねぎ栽培技術の向上  
J A新みやぎ仙台小ねぎ部会36人……………美里 48
- (9) 「気づき」を活かしてきゅうり栽培技術のレベルアップ  
きゅうり生産の見える化による栽培技術のレベルアップと産地生産力の強化  
J A新みやぎ栗っこきゅうり部会 重点指導農家5人……………栗原 50
- (10) 盆・彼岸・正月需要を狙った花き・花木生産  
市場等ニーズに応じた花き・花木生産による経営発展  
株式会社南三陸Pine Pro……………気仙沼 52

## II プロジェクト活動事例 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給

### 1 みやぎの食と農への理解促進と安全・安心な農畜産物生産の取組支援

#### (1) 法人経営の継続・発展に向けて

次代につなぐ大規模法人の生産体制整備による経営の安定化

農事組合法人 玉浦中部ファーム……………亘 理 56

#### (2) 農村と地域農業の維持発展を目指して

農村の維持発展を支える法人経営の体質強化

農事組合法人あきう生産組合……………仙 台 58

### 2 多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援

#### (1) (農) ふるせきファーム設立にむけて

中山間地農業を担う新たな営農体制の構築

川崎町古閑地区 (ほ場整備予定地区)

農業法人役員予定者11人……………大河原 60

#### (2) 「吟のいろは」の産地化を目指して

地域の特色を生かした「吟のいろは」の産地化の実現

松山町酒米研究会「吟のいろは」生産者10人……………美 里 62

#### (3) 中山間地域における農業の持続を目指して

中山間地域農業を支える地域営農体制の構築

倉内・大針農村地域活性化委員会地域営農部会6人……………仙 台 64

## III プロジェクト活動事例 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築

### 1 関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援

#### (1) 中山間地域に「輝くぶどう栽培」を目指して

直売所と連携した中山間地域でのぶどうの生産・販売

管内シャインマスカット導入者18人 (J A加美よつば組合員5人,

あ・ら伊達な道の駅出荷組合員13人)……………大 崎 66

## IV 各農業改良普及センターの重点活動と一般活動の紹介

1	大河原農業改良普及センター……………	70
2	亘 理農業改良普及センター……………	72
3	仙 台農業改良普及センター……………	74
4	大 崎農業改良普及センター……………	76
5	美 里農業改良普及センター……………	78
6	栗 原農業改良普及センター……………	80
7	登 米農業改良普及センター……………	82
8	石 巻農業改良普及センター……………	84
9	気仙沼農業改良普及センター……………	86

## V 令和3年度農業普及関係各種表彰事業受賞者概要…………… 90

## VI 令和3年度農業改良普及事業関係主要行事実施状況…………… 94

## VII 令和3年度各農業改良普及センタープロジェクト課題一覧…………… 95